

今日のキーワード 緩やかな利上げを示唆「ベージュブック」(米国)

「ベージュブック」は、米国の12地区の連邦準備銀行(地区連銀)が管轄地域の経済状況をまとめた「地区連銀経済報告」のことです。表紙のベージュ色が名前の由来であり、経済情勢についての総合判断、主要産業の動向や雇用・物価動向などがまとめられています。「ベージュブック」は、年に8回開催される連邦公開市場委員会(FOMC)の2週間前の水曜日に公表され、金融政策の判断材料として用いられます。

ポイント1

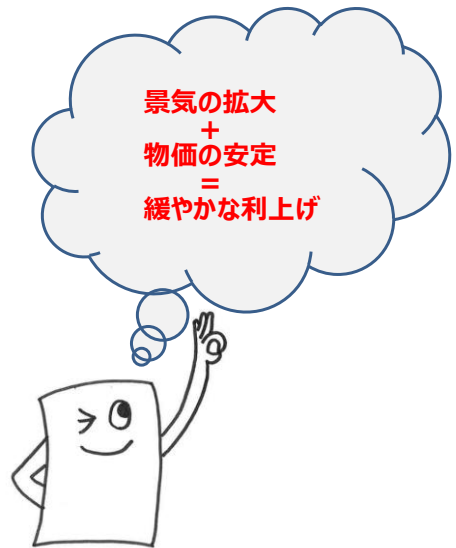
経済活動は「緩やかなペース」で拡大 前回報告とほぼ同じ評価

- 6月1日に公表された最新の「ベージュブック」は、「経済活動は穏やかなペースで拡大を続けている」と総括しました。4月13日に発表された前回報告とほぼ同じ評価です。今回の評価を地区別に見ると、ニューヨーク(NY)地区がほぼ横ばいだったほかは、残り11地区とも程度の差こそあれ拡大を維持しました。

ポイント2

個人消費、住宅投資は拡大の基調を維持 労働需給は熟練工、非熟練工ともに逼迫

- 個人消費については、NYなど北東部の地区で、春先の肌寒い気候の影響から季節物商品が伸び悩んだほかは、総じて緩やかな増加となりました。
- 建設・不動産は、商業用、住宅とも、ほとんどの地区で拡大しました。住宅では、特にボストン、サンフランシスコなどの地区での販売増が目立ちました。
- 他方、製造業は、アトランタやリッチモンド地区で拡大した反面、NYやフィラデルフィア地区で落ち込むなど、地域や業種によって、まちまちな評価でした。
- 労働市場については、需給逼迫、緩やかな賃金上昇が報告されました。高度な知識・技術を有する人材のみならず、非熟練工の不足も指摘されています。



今後の展開

金融資産に有利な「物価安定の下での景気拡大」という環境が継続

■米国経済は持ち直しへ

2016年1-3月期の米国経済は低成長に止まりましたが、「ベージュブック」などから判断すると、4-6月期は上向いたと見られます。6月14日、15日開催FOMCで利上げが実施される可能性は高いと考えられます。

■利上げは緩やかなペースとなる見込み

米国は利上げ局面に入っていますが、物価の安定を踏まえると、そのペースは緩慢なものとなる見込みです。株式をはじめとする金融資産にとって良好な環境が、しばらく続く予想されます。

ここも チェック!

2016年5月31日 米国の金融政策 (2016年5月)

2016年5月25日 最近の指標から見る米国経済 (2016年5月)

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友アセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。